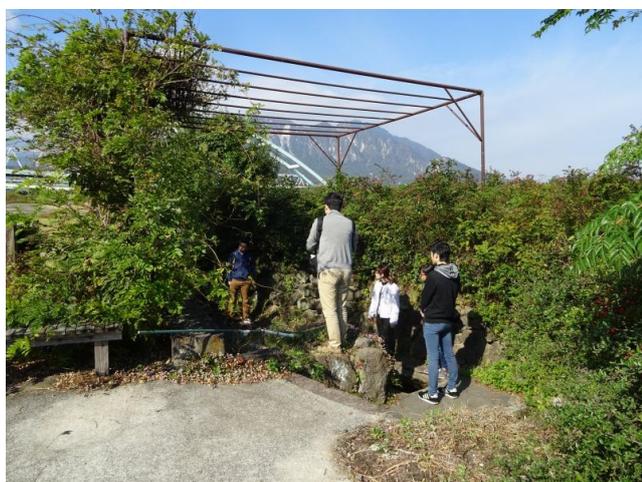


2018年度第6回環境科学部フィールドスクール（11/17）

「火山の災害と恵み」が行われました。

11月17日（土）の第6回環境科学部フィールドスクールは、「火山の災害と恵み」をテーマに、島原市・南島原市で実施しました。島原半島ジオパーク協議会事務局の大野希一次長の解説により、午前中、1990-1995年雲仙普賢岳噴火により発生した火砕流・土石流の被災地域を訪ね、当時の災害の状況や噴火終息後の地域再生のようすを学びました。午後は、1792年の眉山大崩壊の崩壊壁や眉山が崩れてできた流れ山の地形を観察した後、島原大変の旧海岸線をたどるまち歩きを行い、山体崩壊と津波による災害がどのようなものであったのか、またその災害あるいは火山からもたらされた温泉や湧き水など自然の恵みについても詳しく学びました。



われん川



土石流被災家屋保存公園



耳洗公園



浜の川湧水